うまい！

岩船米づくり情報（土づくり編）

平成２９年７月
岩船農業振興協議会
村上農業普及指導センター

大切な田んぼがやせてきています！

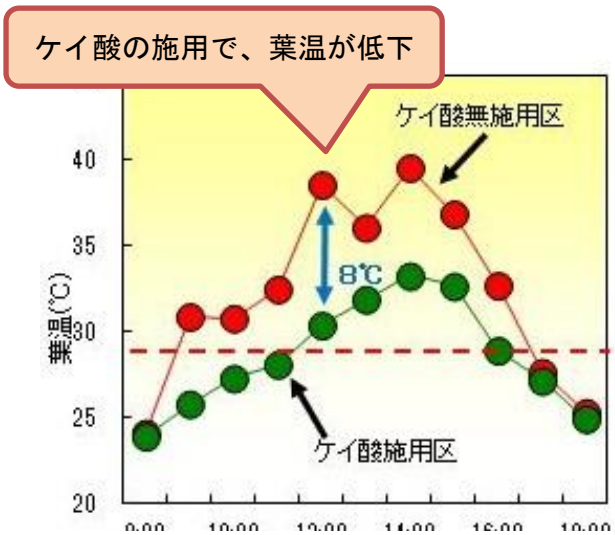
～土づくり肥料で肥やしましょう～

ここ数年、確実においしい１等米を確保できていますか？
土づくりは、きっちりと行っていますか？
残念ながら、土づくりがされないと田んぼは確実にやせていきます。
近年、地力の低下によって後期栄養の確保や気象変動への対応ができずおいしさや等級が低下している事例が増えていると思います。
おいしくて品質の高い岩船米づくりや異常気象に対応した米づくりには「土づくり」が絶対に欠かせません。
肥料・農薬の予約時期の今、米づくりは、「土づくり」が重要であることを再確認し、来年の施肥設計の改善をお願いします！

1　土づくりは米づくりの土台

田んぼは、稲にとって必要な水分と栄養分を得る大切な場所です。
田んぼが栄養不足では、健全な生育ができなく、おいしくて品質の良いお米は生産できません。
また、稲は、米を生産するため、必要な栄養素を大量に吸収しますので、毎年補給していかなければ不足してしまいます。
田植え前に基肥で施用する窒素、リン酸、カリだけでは、稲にバランス良い栄養が与えられません。土づくりによって、ケイ酸、苦土、鉄、マンガンなどをバランスの良く補給して栄養状態の良い田んぼにすることがおいしく、品質の高い岩船米づくりの基本中の基本になります。

2　夏の登熟期に重要なケイ酸肥料



高温条件における葉温に及ぼすケイ酸の効果

岩船地域では、ほとんどの地域でケイ酸が不足しております。ケイ酸資材の施用が、おいしく品質の高い岩船米生産の重要なポイントです。
ケイ酸を多く含む稲は、水分を根から吸収して葉から蒸散させる働きが活発となり稲体の温度を低く維持します。
それによって、夏の高温によるデンプン合成阻害の影響を軽減し、白未熟粒の発生を抑えます。

〔関連情報〕

3　土づくり肥料を入れていないほ場の対応【必須】

重要！

水稲は、幼穂形成期以降ケイ酸の吸収量が急激の増加します。

土づくり肥料を施用していないほ場では、品質低下が懸念されますので、出穂の 20 日前までにケイ酸質肥料を追肥し、稲の体質強化と根の健全化を図りましょう。

【施用例】

◎ケイ酸カリプレミア 34 又はマルチサポート２号：20～40kg/10a

※土づくりでのケイ酸の施用が基本でより効果的です。

肥料・農薬予約時期です！！

◎　これが土づくりの決定版

まずは予約から

JA 等と相談し、あなたの田んぼに合った資材を見つけてね！

土壌分析結果	資材名（例）	主な成分含有率（％）	標準施用量（kg/10a）
全ての成分の補給【砂壌土～壌土・一般的な土づくり】	すくすく岩船米ソイル元気	リン酸 5、カリ 1.5 ケイ酸 20、苦土 2、鉄 7、マンガン 2	60
鉄・ケイ酸不足が著しい場合【砂質浅耕土・秋落ち水田など】	マン鉄ソイル	ケイ酸 13.5、鉄 15.5 苦土 4.0 マンガン 1.5	100
	農力アップ	ケイ酸 23.0、鉄 12.0 苦土 2.3 マンガン 3.0	60～100
ケイ酸不足が著しい場合【砂壌土～壌土・ごま葉枯病常発地等】	けい酸加里プレミア 34	ケイ酸 34、カリ 20、苦土 4、鉄 5～8	40～60
	ソイルキーパー	ケイ酸 26、カリ 4 苦土 4、腐植酸 4	40
	スーパーシリカプレミアム	ケイ酸 30、苦土 2	60～100
	みつパワー	ケイ酸 25.1、鉄 1.7 苦土 2.7 マンガン 10.0	60～100
	ケイカル	ケイ酸 30、苦土 4	120～200
リン酸とケイ酸、苦土の補給【壌土～埴土・一般的な土づくり】	粒状ようりん	リン酸 20、ケイ酸 20、苦土 12	40～60
腐植が不足している場合【堆肥代替品】	アヅミン	腐植酸 50、苦土 3	20～40
地力低下（土づくり）【砂質浅耕土・秋落ち水田など】	畜糞籾殻堆肥など	（例）窒素 2.2、リン酸 4.9、カリ 2.5、C/N比 16	200～400

土づくりは、味と品質であなたのお米「岩船米」の評価を上げます！